

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定 運用状況(2010年4月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジを行います。
- MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	462,028	96.5%
現預金・その他	16,831	3.5%
合計	478,858	100.0%

運用状況

2010年4月の世界株式市場は、MSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で0.30%上昇しました。月の前半は米国の堅調な経済景況を背景に世界的に景気回復への期待が高まり、上昇しました。しかし後半は欧州諸国の財政懸念再燃や米国での金融規制強化懸念を背景に下落に転じ、月を通しては小幅上昇に留まりました。このような市場環境の中、当特別勘定は1.49%上昇しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

4月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

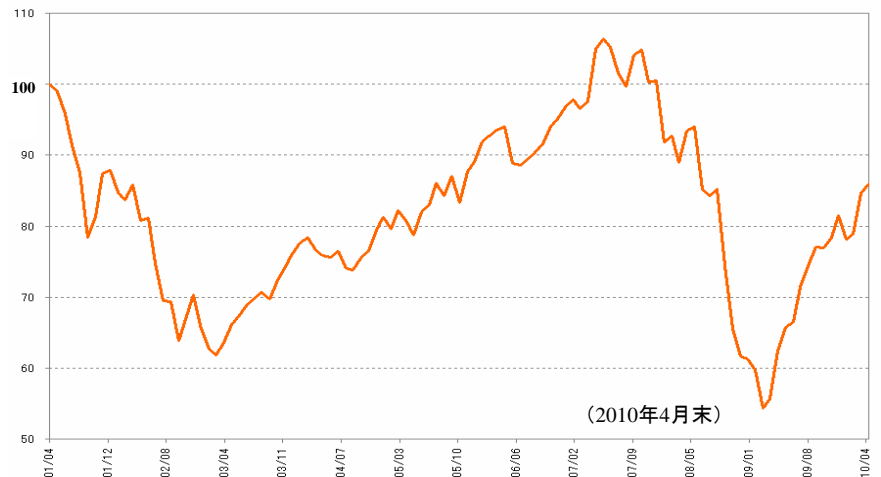
5月についても、「ラッセル外国株式ファンドI-4A」、「年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり)」への投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
85.89792736	+1.49%	+9.88%	+11.57%	+37.80%	▲18.13%	+9.11%	▲14.10%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(2001年5月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル外国株式ファンドI-4A (73.3%) : p20下段
年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり) (23.2%) : p21上段
現預金・その他 (3.5%)

(注)「p20下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。